

一般社団法人日本脊椎脊髄病学会

令和6年度第7回 理事会議事録

日時：令和6年8月19日(月)14:00-16:00

場所：慶應義塾大学医学整形外科学教室/Zoom

【出席した理事】相澤俊峰、伊藤康夫、今釜史郎、金村徳相、川口善治、國府田正雄、須田浩太、高橋寛、竹下克志、永島英樹、中村雅也、藤原靖、細金直文、宮腰尚久、山田宏、吉井俊貴、渡辺雅彦

【出席した監事】岩崎幹季、前田健

【議事の経過の要領及びその結果】

理事長・中村雅也が議長となり、開会を宣して議事に入った。

1. 審議・決議事項

①. 令和6年度第6回理事会議事録の確認

修正等ある場合は事務局へ一報する。

②. 46th SICOT Orthopaedic World Congress (SICOT 2026)からの講演者推薦依頼について

第46回SICOT(会長 田中栄先生)から講演者候補推薦依頼があり、金村徳相理事(江南厚生病院)、西良浩一評議員(徳島大学)、酒井大輔評議員(東海大学)、中村雅也理事長(慶應義塾大学)、波呂浩孝評議員(山梨大学)、吉井俊貴理事(東京医科歯科大学)の6名を候補者とするのを、一同検討の結果、承認した。

③. 椎体形成ワーキンググループの業務移管に伴う戸川先生の安全医療推進委員会委員追加について

椎体形成術WG戸川大輔委員長を安全医療推進委員会委員へ委嘱することについて、一同検討の結果、承認した。

④. 会員審査(7月分)

7月の入退会についてメンバーシップ・コンプライアンス委員会では全員承認であった旨報告があり、一同検討の結果、承認した。

⑤. CSMガイドライン委員会からHPへの掲載依頼について

日本整形外科学会診療ガイドライン委員会・頸椎症性脊髄症診療ガイドライン改訂第4版のクリニカルクエストに対するパブリックコメント募集を、JSSRのHPを活用して行うことが提案され、一同検討の結果、承認した。

⑥. セメント注入型PS合併症周知文書について

前回の理事会で報告されたセメント注入型PS合併症について、会員周知のために作成した報告書が提示された。多くの理事から意見や疑義があり、今回は事実を伝えて注意喚起をする報告とすることになった。引き続き新技術評価検証委員会でも検討し、再度理事会で審議することにした。

⑦. R8診療報酬改訂について

令和8年度の診療報酬改定に向けた要望項目を社会保険等システム検討委員会で検討し、新規要望3点、改正要望4点の提案があった。JSSR-DBのデータ使用については提出スケジュールなどをDB委員会と相談して対応することとし、令和8年度診療報酬改定要望項目について、承認した。

⑧. 学会事業継続に向けた外部団体との連携促進WGメンバー追加について

現在まで少人数で活動していたが、様々な企業へアプローチをするため、大和雄評議員(浜松医科大学)、工藤理史評議員(昭和大学)、宮城正行評議員(北里大学)を追加したいと提案があり、一同検討の結果、承認した。

⑨. その他

1) 関連学会用投稿査読システム導入について

投稿査読システムを導入することをJSR関連6学会から賛同を得たと報告され、一同検討の結果、承認した。

2) 専門医制度委員会から報告事項の共有について

- (1) 脊椎脊髄外科専門医基幹研修施設として、今期は49件の新規申請があり、今後審査を行う予定である。
- (2) 専門医試験を受験していない指導医がまだ多数いるので、関連施設の評議員へ確認を依頼することとした。
- (3) 今年度の脊椎脊髄外科専門医更新審査の結果、対象者はE-learningを受講して全員合格した。
一同検討の結果、承認した。

3) 国際委員会

- (1) 2025年3月13日に開催されるBritish Association of Spine Surgeons(イギリス)から依頼のあったVirtual Talkについて、演者を募り希望者がいれば対応することとした。併せて打診があった2026年 Joint Sessionについては積極的に参加しないことが報告された。
- (2) Ganga HospitalへのVisiting Professorship締結について
懸案事項となっていたGanga病院(Rajasekaran医師)とのVisiting Professorshipについて、国際委員会との間で確認書面を取り交わす方向であることが提案された。理事からさまざまな意見や疑義があり継続審議とした。

2. 審議・報告事項

①. 教育委員会報告

研修コースの参加者数が減少傾向にあるので、広報活動としてNLやHPで告知を徹底したいと説明され、広報委員会と具体的な対応を検討して進めることが報告された。

②. SSRR編集委員会報告

SSRRはIFを獲得しているが、今後は自己引用が20%を超えると警告、30%を超えるとIF算出対象外となってしまうため投稿者に注意を喚起すること、IF向上のために採択率を下げる対策も考えていることが報告された。

③. 脊椎関連学会連携促進委員会報告

日本脊椎関連学会連携協議会(SWJ)設立の経緯について改めて説明があり、社員総会で報告された決算概要、活動報告の説明があった。今後も定期的にSWJの活動を報告していく。

④. 国際委員会報告

- 1) Spine Across the Sea 2024 (カウアイ、2024/7/28-8/1)について報告があった。
- 2) Spine 20 (リオデジャネイロ、2024/8/9-10)に伊東アドバイザー、玉井委員、北村委員が現地参加したことが報告された。

⑤. プロジェクト委員会報告

前回に引き続き進行中のプロジェクト進捗状況が報告された。

⑥. 診断評価等基準委員会報告

現在進行中の3つのプロジェクトの進捗状況について説明があり、目標症例数に達していないプロジェクトに対して施設へのエントリー協力依頼等を行うことが報告された。

⑦. その他委員会報告

1) 指導医制度委員会報告

指導医資格継続要件に専門医の資格を必要と定める規程がないため、指導医制度委員会と専門医制度委員会の両委員会で更新要件を定めて理事会へ報告することになった。

2) 安全医療推進委員会報告

ヘルニア及びセメントスクリュウ合併症に対してアンケート調査の実施を検討しており、費用としては15万円程度を見込んでいると説明があった。アンケート調査とJSSR-DB上のリアルワールドデータと齟齬が出ないように検討することになった。

⑧. その他

・次回の理事会開催日：9月9日（月）14：00-16：00 Zoomにて

以上

令和6年8月19日

一般社団法人日本脊椎脊髄病学会

議長 理事長 中村雅也

監事 岩崎幹季

監事 前田健